

2011年、関西を拠点に FMコンサルティングをスタートします

いのうえFMコンサルティング

ファシリティマネジメント活動はこれまで、(社)日本ファシリティマネジメント推進協会のリーダーシップと各界の優良企業の参画により、首都圏を中心に全国展開され、着実に発展・成長してきました。しかし残念ながら近畿ではその活動は一部に留まっており、むしろ広島・四国・九州、北海道などで自発的にFM組織活動が展開されてきています。

関西に元気を！少子高齢化の社会、国内空洞化・雇用不安がますますエスカレートしており、その中であらゆるファシリティの最も有効活用は企業・団体・自治体にとって必要不可欠なマネジメント手法であると確信します。そのような地域で、長年インハウスのFM部門に在籍し、積み重ねたFM経験を、同じインハウスで日夜FM課題に取り組まれている皆様にいささかなりともお伝えし、お役に立てればと考えています

労働力の減少
経済活力の低下
社会保障費の増加

建築の長寿命化
生産性の向上
ファシリティコストの低減
ストックの有効活用・効率的運用

FMの観点から見た、建築の質を向上等に関する提案
(H22.4 JFMA編)より引用

関西に咲かそうFMの華



Panasonic FM部門在籍30年のマネジメント経験を活かしガイドします
セミナー講演・研修講師・課題別コンサル・プロジェクト支援・顧問等、
お気軽にご相談ください



自己紹介

1973年: 武蔵工業大学(現・東京都市大学)卒
同年: 松下電器産業(株)(現パナソニック(株))に入社、空調システム技術・営業を経て
1981年: 本社施設管財部(Corporate Facility Management Group)に着任
本社において30年間、一貫して全社のファシリティマネジメント部門業務に
携わり、全社の工場オフィスなど建設・保全・管理の助成、全社方針策定、
FM部門人材育成制度企画、研修体系企画運用、各種経営革新活動を担当、
特にこの12年間はテーマ別のファシリティリスクに取組み、グローバル方針
中期行動計画と実践、M&Aでの施設環境デューデリなどに参画。
活動の対象は国内200拠点、海外300拠点。

2010年: パナソニック(株)を定年退職(本社FM部門在籍30年)
JFMA創設期より、加盟、財務評価部会に参加、JFMA他各種講演多数。
NOPA主催FM受験講座は、2000年より財務評価・ライフサイクルマネジメント担当
出身: 横浜市、 現住所: 大阪府枚方市北山1-46-9
趣味: 弓道 錬士五段 (枚方市弓道連盟会長、大阪府弓道連盟理事)

代表 井上 英夫
INOUE
Facility Management
Consulting (仮称)
Osaka Japan

FMコンサルティング 4つの理念

- ▶ **企業・自治体のインハウス施設マネジメント構築に貢献します**
ファシリティの建設・運営・維持・保全・資産管理について、複雑化し多様な実業の世界で日々ご苦労されている組織内のファシリティ部門の皆様に直結した活動を本分とします
- ▶ **首都圏と連携したFM支援を展開します**
JFMAと連動し、多彩な先輩コンサルタント諸氏とのネットワークにより、広範囲なテーマに最適なファシリティマネジメントによるソリューションを提供します(首都圏も行動範囲です)
- ▶ **グローバル企業のFM経験を活かしたコンサルティングを実践します**
実業の中で実践した課題や失敗を踏まえて、導き出した事例を参考に、より新しい手法や各企業や団体・自治体に適合するFMのあり方を支援します
- ▶ **「曲突徒薪(きょくとつとしん)」(漢書)が私の行動規範です**
問題が起こる前に予見する、準備する、方向付けする。そういう支援を心がけます
(「曲突徒薪」については3ページ目をご参照ください)

お問い合わせは・・・こちらへ

mail to: lapita-inoue@eva.hi-ho.ne.jp

携帯: 090-3056-6713

住所: 〒573-0171 大阪府枚方市北山1-46-9

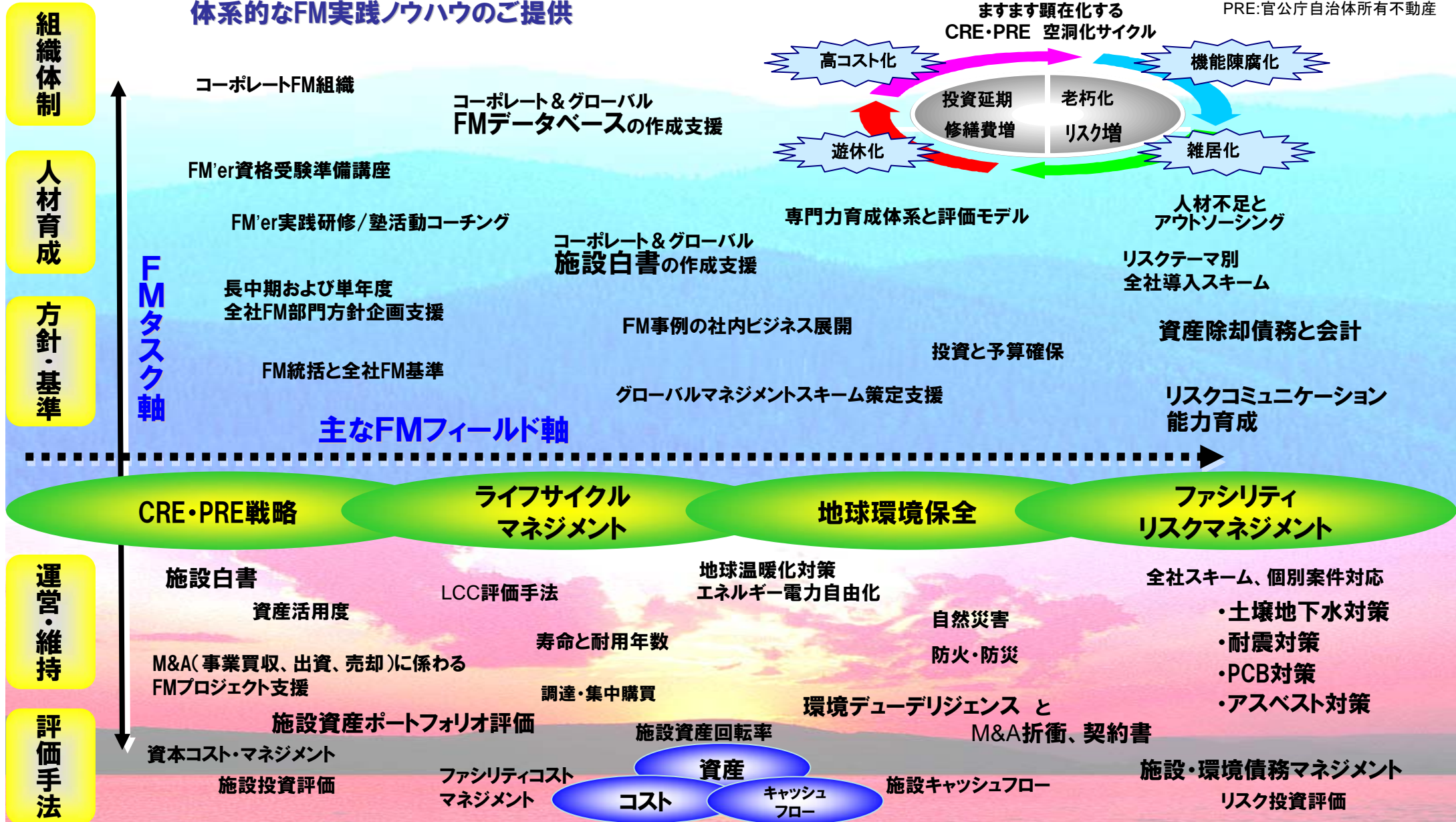
自叙伝的ファシリティマネージャのFM奮戦記「30年の暗中模索」(JFMA機関誌CURRENT掲載・追補版 A5版18P)をPDFで進呈します
ご遠慮なく次のメールアドレスへ⇒mail to: lapita-inoue@eva.hi-ho.ne.jp

FMアクションアイテム・マップ(FM活動の切り口)は次ページを参照ください

施設を科学するFMアクションアイテム・マップ

※ CRE:企業所有不動産
PRE:官公庁自治体所有不動産

体系的なFM実践ノウハウのご提供





リスクは先送りすると顕在化する・・・

リスクは逃げると追いかけてくる・・・

リスクは忘れたところにやってくる・・・ ご相談は⇒mail to: lapita-inoue@eva.hi-ho.ne.jp

いのうえFMコンサルティング

ファシリティマネージャーの責務は、**備えよ、常に！**

(引用:ボーイスカウトのモットーより)

●「曲突徒薪(きょくとつとしん)」の訓え(漢書より)

「曲突(きょくとつ)、薪(たきぎ)を徒(うつ)すは恩沢なく、焦頭爛額(しょうとうらんがく)、上客となすや」の故事は「曲突徒薪」というリスク管理の心構えを説く四文字熟語(成語)です。

この故事は、『昔、ある日ある時、身なりの良い旅人が、大金持ちの家の前を通り過ぎようとした。ふと家の中を見ると、かまどの火が大変勢い良く燃え盛っている。煙突から火の粉が飛び散るくらいの勢いの良さだ。これは危ないと思った旅人は親切心から家主に忠告をした。「火事になると危険ですよ。煙突をかやぶき屋根の反対側に曲げた方が良いでしょう。それからその近くに薪がありますが、これも煙突から離れた場所に移した方が良いでしょう。しかしこれを聞いた家主は「よそ者が訳の分からない事を行っている」と全く取り合わず、もちろん礼を尽くす事もしなかった。ところがしばらくして、旅人の忠告が現実のものとなってしまった。煙突から飛び散った火の粉が薪やかやぶき屋根に引火し、大火事となってしまったのだ。辺りは大騒ぎ、そこにたまたま通りかかった恰幅の良い人が、消化活動に参加した。彼は頭を焦がし、額に火傷を負いながら懸命に火を消し続けた。その甲斐あってか、火事はしばらくして収まった。家主は大喜びで、彼を大層手厚くもてなした』というもの。

この故事について、なるほど「ある、ある」と感じた方が多いのではないのでしょうか？

実際のリスクマネジメントのあるべき姿は？

予見と事前の準備により、最小の被害と最小のコストとすることが求められています。



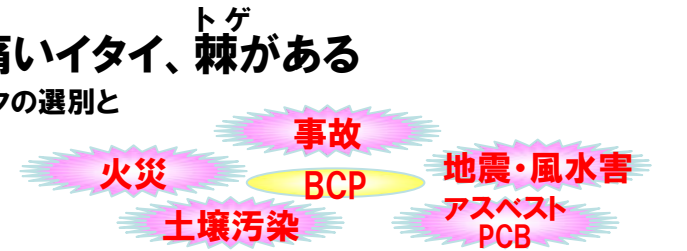
ノアの方舟は、事業継続プラン！？
「人類最初のBCP実践者はノアだった。でもノアは事前に神から洪水発生を時期を聞いていた。われわれにはそういう神はいない。」



PCB土壌汚染対策の実施に伴い、住民説明会で直接対話する私、しんどいけれどもわかりやすい説明と逃げない正直を貫く真摯な行動が共感を生みます

●不動産・施設には、なぜか痛いイタイ、棘がある

- ✓負の遺産と呼ばせない、ファシリティリスクの選別と
定量化・デューデリジェンス
- ✓コンプライアンス対応と
自主基準の設定レベル
- ✓リスクコミュニケーションの
ファシリテータ機能
- ✓中期ロードマップ、アクションプラン策定
- ✓環境債務と資産除却債務対応の違い



社会的責任としての行動=企業価値の向上

●FMリスクマネジメント手法の導入支援／大縄跳びスキーム

グローバルリスクマネジメントの必要要件／マネジメントサイクル

多くの国内・海外拠点をいかにして高位平準化するか
数少ないインハウスの人材を補完するには

法令・文化・習慣の異なる海外子会社へのガバナンスとは

次々と発生する新たなリスクテーマに必要な専門知識とは

機密保持契約のもと
コンサル受託します

